

河北秀也の言葉

河北秀也『河北秀也のデザイン原論』（新曜社、1989年）より抜粋
※□は企画者による解説

ポスターは、

弱いコミュニケーション・メディアである。(p.220)

「**急がない広告**」

ポスターは効率のよい広告媒体ではないのに、なぜそうしたか。それには二つの大きな理由がある。一つには、「いいちこ」は生産量がまだまだ少なく品薄状態が続いており、テレビ・コマーシャル等で派手な広告を打つと、さらに品薄になる恐れがあった。駅貼りポスターによる交通広告是一枚ではたいして効果はないが、続けていくことによって、徐々に効果が現れてくる。つまりコンセプト「焼酎ブームが去ったあとでも『いいちこ』が売れ続け、しかも本格焼酎のトップブランドになるために」のための、急がない広告としては最適だったのである。
第二の理由は、ポスターは広告効果の薄い媒体だが、シンボル作用というものがある。テレビ・コマーシャルや、新聞、雑誌広告は、一回見れば終りだが、この特大ポスターは貼っておけば、いつでも目につく。(p.258)

実現されてこそ、ある完成された形に

持っていったこそ「アイデア」なのである。

デザインは案が通り実際の物として実現しなければ、ただ案を考えただけではデザインはしなかったことになる。すばらしいアイデアだったけど、通らなかったというのはこれはアイデアではない。「アイデア倒れ」というのである。あるいは、「思いつき」といってもいい。よく「思いつき」と「アイデア」をごっちゃにする人がいるが、そうではない。実現されてこそ、ある完成された形に持っていったこそ「アイデア」なのである。(p.86)

私たちはイメージそのものを

消費しているのである。

付加価値とは、時代が共有する哲学や思想や気分がもととなって起る需要と供給の物理的バランスから生ずる価値のことである。それを意図的にプログラムし、付加価値を創出していくのがデザインという行為である。(pp.145-146)
私達がモノを評価したり、選びとっていく時は、つねに、イメージに左右されている。というより、私達はイメージそのものを消費しているのである。(p.150)

河北秀也の [ミスマッチストーリー] **iiichihiko** DESIGN

人間の幸せという大きな目的のもとに

調整していく行為をデザインという。

デザインは、経済、科学、教育、美術、政治、文学等、あらゆる現代社会の要素の中間領域である。これらの独立した要素を、人間の幸せという大きな目的のもとに調整していく行為をデザインという。(p.182)

<p>河北の肩書は、「デザイナー」「グラフィック・デザイナー」「アート・ディレクター」「クリエイティブ・ディレクター」とさまざまに呼ばれるが、自らを「アーキテクト」と名乗る場合もある。日本語では「建築家」と訳されるが、「本来の意味はものごとを総合的に作り上げる人という意味である」(p.204)。一般的には、造形的に凝った装飾や実用性から離れたアートと同義とされることもある「デザイン」という言葉だが、河北によればそれは日常の暮らしに関わるものであり、より良い社会のためにあらゆる領域を包括する「文化」(p.206)であるという。</p>

認識するには視覚だけでなく、聴覚、嗅覚、

味覚、触覚、いわゆる五感を働かせている。

「見る」とはいったいどういうことだろうか。(中略)目は単なる光の入り口であって、実際には脳で見ているわけである。つまり、脳でモノを認識している。認識するには視覚だけでなく、聴覚、嗅覚、味覚、触覚、いわゆる五感を働かせている。(p.151)

さらに、人間の視覚認識の最大の特徴は、目的を持って一点を見てはいるが、まわりがポーッと見えているというところにある。このポーッと見る、ということが大変重要なのである。ポーッと見ながら常に状況判断を行っている。(p.157)

<p>「みる」という行為は視覚のみに関わると思われがちだが、河北が言うように、実際に私たちがものを見るときには、視覚以外の感覚を含め総合的に情報を処理し、これまでに見たことがあるものと照合して認識している。さらに、「みている」とも言えないような、視界の端に映っているもの、焦点のあたっている事柄以外の要素も「みえている」。駅の構内でポスターをみる場合や、自分の部屋で雑誌を読みながら見開きページの広告をみる場合など、それぞれの文脈における「みる」行為に合わせて、ふさわしいデザインがおこなわれている。</p>
--

2021
7/22 (木・祝) **ー** **10/3** (日)

会期中、一部展示替えをおこないます。

前期 7/22 (木・祝) **ー** 8/29 (日)

後期 8/31 (火) **ー** 10/3 (日)

10/8(金)まで会期を延長します。※10/4(月)は休館

清須市はるひ美術館

<p>〔主催〕清須市はるひ美術館</p>
<p>〔協賛〕三和酒類株式会社</p>
<p>〔協力〕株式会社日本ベリエールアートセンター、株式会社東宣</p>
<p>〔会場構成〕桂川 大</p>
<p>〔映像〕小濱史雄</p>
<p>〔施工・展示〕谷 薫・酒井名月・古畑大気、株式会社アーティストリー、有限会社ばいんと</p>
<p>〔企画〕奥村綾乃(清須市はるひ美術館)</p>



KIYOSU
CITY
HARUHI
ART
MUSEUM

【会場構成と映像について】

1か月のうち1週間、改札内外のコンコースやプラットフォームの掲示板に掲示される「いいちこ」のB倍判ポスター。歩きながら、電車に乗りながら、誰かと話しながら出会うポスターに、意識を向けることもあればそうでない場合もあるでしょう。まちなかの広告は、鑑賞するというよりも、偶然視界に入るという形で「みる」ことが一般的です。本展では、広告をみる環境を美術館という鑑賞の場において解釈することを試みました。地下鉄駅構内をモチーフに、歩行するための通路や柱、階段など、ある意味鑑賞の妨げにもなりうる要素をあえて取り入れることで、都市空間における多様な「みる」行為を創出することを意図しています。また、ポスターの実際の在り方を映像作品(*)として記録することで、空間との関係性をより強化しました。本来ポスターをみる環境には、雑踏や電車の音、人々のさまざまな動きなども含まれていることを改めて体感していただければと思います。

会場構成は建築家の桂川大氏、映像は映像作家の小濱史雄氏が担当しています。

桂川 大 かつらがわ だい

1990年岐阜県生まれ。建築家。alt_design studio主宰。名古屋工業大学大学院博士前期課程を修了後、一級建築士事務所Eurekaに勤務。名古屋工業大学大学院博士後期課程在籍。岐阜、愛知を拠点に建築設計をはじめ、都市や風景の観察・採集・再現をするフィールドワーク、会場構成、場づくりをおこなっている。主な会場構成・デザインに「ナゴヤオリンピックリサーチコレクションティブ(assembly nagoya2019)」、「物語としての建築—若山滋と弟子たち展—(清須市はるひ美術館)」、「都市のみる夢(東京都美術館)」など。

小濱 史雄 こはま ふみお

1991年大阪府出身。名古屋芸術大学卒業。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)中退。主に風景やそれに付随するテーマをモチーフに作品制作をおこなう。場所や風景に含まれるコンテキストや記号や意味、それら風景を形作る要素に独自の解釈を取り入れ、風景を変換することを通して「見えない風景」を模索している。並行して、映像・写真・美術・おいしいお店のジャンル別リストの作成など自身の専門分野を生かした業務をおこなっている。

季刊 iichiko

2014年冬号(No.121)-2021年春号(No.150)

TVCM

1986-2021年 60秒、30秒CM (約42分)

地下鉄車内窓上ポスター

2020年7月-2021年6月

ポトルデザイン

いいちこ「パーソン」
いいちこ「シルエット」
いいちこ「スーパー」
いいちこ「フラスコ」
いいちこ「スペシャル」



B倍判ポスター
発表年月 / コピー / 用紙 / インキ / 撮影地

1 下町のナポレオン、いいちこ

- ・1984年4月「広告の世の中だけど 噂で飲まれる酒がある ミスマッチストーリー」
アート紙 ノーマル 4C+特色1C
- ・1986年5月「いいちこ。風で割る。」ケント紙 ノーマル 4C+特色1C
- ・1985年12月「一本の透明なストーリー。」
ケント紙 ノーマル 4C+特色1C ニューヨーク
- ・1985年クリスマス
メタリックユポ ノーマル 4C+オペーク W2C+ 特色1C ニューヨーク

2 春夏秋冬

- ・2020年2月「花に迷って。」ヴァンヌーボVナチュラル ノーマル 4c+ 特色1C 北海道
- ・1986年6月「白いシャツが似合う酒。」上質紙 ノーマル 4C+蛍光色1C サイパン
- ・2019年11月「茫茫記」とりの子クリーム ノーマル 4c+ 特色1C カリフォルニア
- ・2014年2月「寒灯。」ミスタービー ノーマル 4C カナダ

3 擬態

- ・1996年10月「先を行くのは、風。」
NTラシャ ノーマル 4C+特色1C ポルトガル
- ・2002年9月「ひとつ腕いで呉れますか。」
ミセスビー ノーマル 4C+特色1C フランス領ポリネシア
- ・1999年1月「混沌の樹の下で。」
ミスタービー ノーマル 4C+オペーク W1C+ 特色1C ハワイ

4 雄大な自然

- ・2000年11月「大のつく語をいくつも想う。」
ヴァンヌーボFナチュラル ノーマル 4C+ 特色2C 南アフリカ

5 佇まい

- ・1996年8月「たまには遊びに来てください。」
上質紙 ノーマル 4C+特色3C ポルトガル
- ・2012年4月「何だかいい日になりました。」
ヴァンヌーボVナチュラル ノーマル 4C+特色2C ニューージーランド

6 旅とノスタルジー

- ・1998年11月「人を乗せない汽車がいく。」
ミスタービー ノーマル 4C+特色1C パタゴニア
- ・1996年11月「先生の懐かしい字。」
NTラシャ ノーマル 4C+特色1C ポルトガル

7 不在／気配

- ・2004年3月「ぐるっとまわって帰ります。」
ミセスビー ノーマル 4C+特色1C イングランド
- ・2018年6月「そろそろあの人も来る頃です。」
上質紙 ノーマル 4C+ 蛍光色1C メキシコ

8 花畑

- ・2021年3月「花の庭で。」
ミセスBスーパーホワイト ノーマル 4c+ 特色2C ニューージーランド
- ・2018年3月「何でもない春の日のこと。」
ミセスビー ノーマル 4C+蛍光色2C イングランド
- ・1987年2月「営業畑の人にも、技術畑の人にも、お花畑の人にも、」
ケント紙 ノーマル 4C+蛍光色1C ロンドン
- ・2001年1月「荒野にも花は咲きます。」
ケント紙 ノーマル 1C+蛍光色4C+特色1C 南アフリカ

雑誌広告

雑誌『BRUTUS』(マガジンハウス) 広告
2019年8月号-2020年7月号
雑誌『ナショナル ジオグラフィック』
(日経ナショナル ジオグラフィック社) 広告
2021年3月号-7月号



河北 秀也 かわきた ひでや

1947年 福岡県に生まれる
1971年 東京藝術大学美術学部工芸科
ビジュアル・デザイン専攻卒業
1972年 東京地下鉄路線図デザイン
1974年 日本ベリエールアートセンター設立
1974-1982年 地下鉄マナーポスターシリーズ企画デザイン
1983年- 焼酎「いいちこ」の商品企画、パッケージ、テレビCM、
ポスター、雑誌広告、出版などすべてを企画デザイン
1992-2003年 東北芸術工科大学デザイン工学部
情報デザイン学科教授
2003-2015年 東京藝術大学美術学部デザイン科教授
2015年 東京藝術大学名誉教授